

取組の概要

取組の概要 : 馬鈴しょの生産量の増加
 計画作成主体 : 士幌町農業再生協議会
 対象品目 : 馬鈴しょ (産地面積 : 5,201ha)
 主な取組主体 : 士幌町農業協同組合 (士幌町馬鈴薯施設
 運営協議会 : J A士幌町、J A上士幌町、
 J A音更町、J A木野、J A鹿追町)
 士幌馬鈴薯生産機械銀行
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (馬鈴薯集出荷貯蔵施設、馬鈴
 薯受入洗浄選別機、貯蔵庫監視システム等)
 生産支援事業 (機械リース)
 (収穫機 26台等)

ポイント

近年、馬鈴しょの需要量が生産量を上回るなど、実需者のニーズに沿った供給が喫緊の課題となっており、その解決に向けた一連の取組 (物流環境対策、増産販売対策、シストセンチウ対策) として、集出荷貯蔵施設の整備及び高性能収穫機械の導入やコントラクター組織による作業体系を構築する。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H22~26年度の5中3平均〉

作付面積 : 4,993ha、販売数量 : 14.4万t
 実需者からの原料馬鈴薯需要に対応した供給力の増強が必要

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 5,201ha、販売数量 : 16.0万t
 集出荷貯蔵施設の整備及び高性能農業機械の導入によるコントラクター組織の確立により、作付面積の増加等を図り、原料馬鈴薯供給力の増強を図る



推進体制

過去より周辺5農協 (J A士幌町、J A上士幌町、J A音更町、J A木野、J A鹿追町) で士幌町馬鈴薯施設運営協議会を設立し、馬鈴薯事業を展開しており、当協議会に関わる全ての町、農業委員会、普及センター、農協、関係者が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

- 物流環境対策として、加工向け原料馬鈴薯用の新規開発コンテナ導入による輸送効率化・安全対策、規制緩和車両を活用。
- 販売力向上対策として、付加価値向上、貯蔵ロス削減、効率的な適期収穫・出荷による品質劣化防止等に取り組んでいる。
- ジャガイモシストセンチウ対策として、でん粉専用の抵抗性品種への全面転換。

事業効果

- 本施設の導入や高性能収穫機械の導入、作業受託体系の構築により、馬鈴しょの安定した出荷や適正な管理の体制が整備され、実需者のニーズに沿った供給体制が確立でき、販売額の増加が図られる。
- また、生産者においては、需要が安定することで、作付面積の拡大が図られる。
- これらにより、生産者の所得向上につながり、産地強化が図られる。

～馬鈴しょの販売額～

